

ちょっと道徳

庭坂小学校
道徳便り
第9号
平成28年7月5日(火)

ちょっと紹介！5の2の授業

7月1日(金) 5年2組の授業をご紹介します。



- ・ 5年2組
- ・ 指導者
佐藤理和
- ・ 主題
「公正，公平，
社会正義」
- ・ 教材
「転校生がや
ってきた」
(東京書籍)

周りに流されて正しいことができなかったことは、ありませんか？

この授業で取り上げたお話は、こんな内容でした。主人公「ぼく」は、学級の友達にいじめられていました。そんな時「琢馬くん」という転校生が来ます。いじめにあっている「ぼく」を「琢馬くん」が支え、励まします。ある日、帰りの会で琢馬君が学級みんなにこう語りかけます。

「ぼくも同じような悲しいめにあいましたが、助けてくれる友達がいて、乗り越えることができました。靴隠しは、ひきょうです。とてもはずかしいことです。友達が困っています。靴隠しなどのいじめは、学級をこわしてしまいます。」



琢馬くんの言葉を聞いて、今までいじめをしたり見たりしていた学級みんなは、どんなことを考えたのか話し合いました。

「琢馬くん、かっこいい」「正直にまっすぐに自分の気持ちを言っている」「みんなも助けようよ。自分も助ける。」「何でこんな簡単なことが言えなかったんだろう。」など、同調圧力に流されず、自分の意思を強く持っていた琢馬くんの言動を通して、子供たちのいろいろな思いがあふれ出てきました。

子供たち1人1人が真剣にいじめ問題と向き合い、いじめ問題の一因である人間の弱さにふれながら、いじめのない学級にするために自分に何ができるのかを考えていました。

ぜひ、ちょっとご家庭でも「もし琢馬くんだったら」「もし周りのみんなだったら」などいろいろな視点で、心の中で考えたことをお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか？

(文責 遠藤 優子)